

## ◆ セニカベ ◆ (準備)

### 《材料》

種類	商品名	容量、施工面積
下塗り材 (シーラー)	①外装セニショー	10L=±80㎡
ベース材	②セニカベ(パウダー状)	20kg=±4㎡(フラット)～±8㎡(ランダム)

※施工面積は、下地の状況や施工方法、またテクスチャーによって変動します。



①



②

## ◆ セニカベ ◆ (施工)

### ① 下塗り

セニショー(シーラー)は、下地と壁材の接着をよくするため必ず使用してください。  
シーラーをローラーなどで塗った後、6～12時間乾かしてください。  
2度塗りの際には、4時間以上乾かしてから2度目を塗ってください。

※ 吸い込みが強いモルタルなどの場合は専用シーラーの前に浸透性のシーラーを塗って下さい。



### ② セニカベ調合

セニカベは20kgのパウダー状の粉末です。  
※ 水を混ぜて練ってからお使いください。  
セニカベは4Lの水を入れた別容器にパウダーを入れ、攪拌棒や低速の電動ミキサーでダマにならないよう少しずつ混ぜ、その後10分程度ねかせてから使用します。  
水と混ぜたセニカベは1時間以内に使用してください。

### ③ 仕上げ(ランダム)

材料が攪拌できたら鏝で塗っていきます。  
厚みは3mm厚程度で平滑に塗ってください。  
ステンレスのコテを様々な方向に動かし模様をつけていきます。  
約24時間以上、乾かして下さい。



### ③ 仕上げ(フラット)

ステンレスのコテで2mm～3mm程度に薄塗りをします。  
セニカベの表面が乾燥してきたら(夏30分～1時間・冬1時間～2時間)2回目のセニカベを2mm～3mm程度に上塗りをしていきます。  
再度、表面が乾燥してきたら薄手のステンレス鏝で表面のムラを無くすように軽く押さえてフラットにしていきます。  
約24時間以上、乾かして下さい。



### ③ 仕上げ(カキ落とし)

ステンレスのコテで4mm～5mm程度に塗ります。

セニカベの表面が乾燥してきたら(夏30分～1時間・冬1時間～2時間)

硬めのブラシで表面を回すようにセニカベをカキ落として行きます。

ブラシでカキ落とす時にセニカベを引きずってしまうようであれば

乾燥時間が足りないので調整をお願いします。

カキ落としが終わり、再度表面が乾燥してきたら薄手のステンレスコテで

表面を押さえて完成になります。

約24時間以上、乾かして下さい。



#### ◆施工に関して

- ・ 施工前に試し塗りをし、パターンを確認してください。
- ・ 雨天時など湿度が高い時や、完全に乾燥するまでに雨にあたる場合には材料が流れたり、剥離する場合がありますのでご注意ください。
- ・ 施工時から完全に乾燥するまでに、気温が5℃以下になる場合には、クラックの原因になります。
- ・ 施工方法の文中の説明は、気温20℃の場合の乾燥時間の目安です。
- ・ 天候や気温・湿度によって乾燥時間は異なります。
- ・ 乾燥を急ぐ際の器具等を使っての急激な乾燥は、ひび割れの原因になりますので十分ご注意ください。
- ・ 外装に使用する場合に軒天のない場合は汚れが付着しやすいのでご注意ください。
- ・ 寒冷地の特に積雪地帯に使用する場合は亀裂や剥離の恐れがありますので必ず担当者にご相談下さい。
- ・ 各作業は、必ず前工程の乾燥後に行ってください。
- ・ 養生は施工後できるだけ早く除去してください。

#### ◆安全に関して

- ・ 施工場所をよく換気してください。
- ・ 誤って目や口に入ってしまった場合は、清潔な水で洗い流すなどしてから医師の診断を受けてください。
- ・ 施工後は手洗い、うがいを行ってください。

#### ◆下地に関して

### モルタル

- ① モルタルの養生は、しっかりと行って下さい。
- ② モルタルとの密着性を高めるために、刷毛引き・荒面での仕上げがお奨めです。
- ③ 専用シーラーの前に急激な吸水を和らげるため、浸透性のプライマーを塗って下さい。

- ・ いずれの場合においても、乾燥が不十分ですと仕上げ材の乾燥の遅れにより表面強度の低下や剥離の原因になりますのでご注意ください。

### 石膏ボード

- ① 石膏ボードの動きや剥離がないことを確認します。  
出隅に面引きを使う場合はカッターで出隅の面をカットしておくとう作業がしやすくなります。
- ② 目地の部分にジョイントテープ(寒冷紗テープ、ファイバーテープ)を貼ります。出隅、入隅部分も同様の作業を行います。
- ③ はじめに下パテをヘラ等でビス穴に埋めます。次にジョイント部分を約15cm幅で塗っていきます。出隅、入隅部分も同様に約15cmの幅で塗ります。
- ④ 下パテが完全に乾燥した後、上パテをビス穴に塗ります。  
同様に上パテでジョイント部分、出隅、入隅に約20cmの幅で塗っていきます。